

AWC 第四回総会への連帯声明

Ban the Base (基地の閉鎖を) ネットワーク

外国軍基地、介入、戦争に反対するグローバルなキャンペーン団体である Ban the Base (基地の閉鎖を) ネットワークは、2016年2月27日・28日に開催される米日のアジア侵略・支配に反対するアジア・キャンペーンの第四回総会に熱烈な連帯の挨拶を送ります。

この総会は帝国主義がその新自由主義攻撃、経済的な搾取と収奪を強めると同時に、介入の戦争のための戦争マシーンを猛烈に強化している重大な時期に開催されます。

この数年間、米国はその顧客国家との軍事同盟を激的に強めつつ、韓国、フィリピン、沖縄、日本その他で自らの軍事プレゼンスと軍事基地を強化しています。

他方、日本は、憲法9条を解釈変更し、「集団的自衛」や「積極的平和主義」を口実にしてその軍事的機能の海外への拡張を認める新しい戦争法制の可決をもって、アジア太平洋地域における米国の軍事化のなかでより広範で積極的な役割を果たしています。

しかしながら、私たちは全世界での反帝国主義の抗議と闘争の復活をも目撃しています。

つい最近も、私たちは環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定その他の貿易協定や帝国主義的グローバリゼーションの破壊的影響に対する抗議の立ち上がりを多くの国々で目撃してきました。

私たちはとりわけ、米海兵隊基地の沖縄北部沿岸地域・辺野古への移設計画に反対する最近の大規模で全国的に連携した抗議、岩国での米海兵隊基地拡張に反対する闘争、宇川での米軍 X バンドリーダー基地建設に反対するキャンペーンなどに鼓舞されてきました。

大衆闘争は韓国、フィリピン、オーストラリア、インドネシア、台湾、インド、その他アジア太平洋地域の大部分で断固として遂行されています。

私たちは総会がこれらの闘いを共有するプラットフォームを提供し、連帯と協力を強め、連携・支援をより緊密なものとして強化することを期待しています。

AWC がより大きな力を得て、成功することを願っています。

ボエット・フレカルス・ジュニア
Ban the Bases! (基地の閉鎖を!) コーディネーター
2016年2月26日

